

まちづくりの目標 4 暮らしにやさしく笑顔があふれるまち

政策 3 誰もが安心していきいきと暮らすことができるまちにします

施策 04 安心して介護を受けながら生活できるまちにします

担当部(統括部) 保健福祉部

【実現ステップ】

平成32年度に実現している姿		平成23年度	平成24年度
介護度が軽度の人ができるだけ施設に入所することなく、住み慣れた居宅で安心して暮らし続けることができるようになっていきます。	目標	必要な住宅改修を行っている	必要な改修が行われた住宅が増えている
	実績		
施設は、必要度の高い人がいつでも利用できるようになっています。	目標	特養に介護度が軽度の方が半数程度入所し、必要性の高い待機者が75人となっている	軽度入所者が減り、重度入所者の割合が高くなっている
	実績		
介護予防に対する理解が深まり、取組みが充実することによって、要介護認定を受ける人の割合が低くとどまり、保険給付と保険料や公費負担が抑制されて、制度が安定して健全に運営されています。	目標	通所型介護予防教室や介護予防講座などを実施している	介護予防に関心を持つ市民が増え、教室などの参加者も増加している
	実績		

実現している姿を確認する指標	実績					平成23年度	平成24年度
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度			
施設・居住系サービスの利用率	38.5%	34.7%	34.4%	33.1%	目標	33.3%	34.2%
					実績		
施設における重度者の利用率	52.9%	52.8%	52.4%	50.0%	目標	56.6%	56.5%
					実績		
65歳以上人口に占める要介護認定率	14.7%	14.4%	14.2%	15.1%	目標	15.0%	15.7%
					実績		
					コメント		

【施策の展開の計画】

施策の展開(◎は重点的な取組み)		平成23年度	平成24年度
◎介護保険制度の適正・円滑な運営	信頼のある制度として持続可能なものとするため、保険給付の適正化に取り組みます。	計画	高齢者ががやきプランの見直し 訪問介護計画の点検と給付適正化計画の見直し 権限移譲に関する研究 事業者連絡会の支援および事業者連絡会との協働事業の実施
		実績(成果)	高齢者ががやきプランに基づく事業の実施 給付適正化計画に基づく事業の実施 権限移譲の検討・決定 事業者連絡会の支援および事業者連絡会との協働事業の充実
		次年度課題	
◎地域における支援体制の充実	介護予防や介護度悪化防止のためのケアマネジメントを充実するとともに、地域での自主的な介護予防活動を支援します。また、認知症になっても安心して暮らせるよう、家族を含めた支援体制を整備します。	計画	健康づくりグループの交流会の実施 いきいき体操の会への支援 認知症支援ボランティアグループの育成 介護者家族の会による相談事業の実施
		実績(成果)	自主グループ支援の拡充 ボランティアグループ支援の拡充 ボランティアグループ支援の拡充 相談事業実施のための支援の拡充
		次年度課題	

第2次実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
必要な改修が行われた住宅がさらに増加している	多くの既存の住宅に必要な改修が行われている	既存の住宅に必要な改修がなされ、新たに高齢者向けの住宅が整備されている	介護度が軽度の方が居宅で住み続けることができる環境が整っている
軽度入所者がさらに減少し、重度入所者の割合が7割近くになっている	新たな施設が整備され、待機者が減少するとともに重度入所者の割合が約7割を占めている	待機者は減少し、重度入所者の割合が7割以上を占めている	待機者は解消され、重度入所者の割合が7割以上を占めており、軽度者は居宅で生活できるような環境が整っている
継続して介護予防に取り組む市民が増え、地域で取り組む機運が高まっている	地域ぐるみで介護予防に取り組む体制が整っている	多くの市民が介護予防に関心を持ち、地域ぐるみで取り組んでいる	多くの市民が介護予防に関心を持ち、日頃から地域ぐるみで取り組むことで、要介護認定率が下がっている

第2次実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
33.8%	33.6%	33%	37%以下
63.4%	70.1%	70%	70%以上
16.3%	16.8%	16.7%	16.7%以下

第2次実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
高齢者がかがやきプランに基づく事業の実施	高齢者がかがやきプランの見直し	高齢者がかがやきプランに基づく事業の実施	高齢者がかがやきプランの見直し
給付適正化計画に基づく事業の実施	給付適正化計画の見直し	給付適正化計画に基づく事業の実施	給付適正化計画の見直し
事業者連絡会の支援および事業者連絡会との協働事業の充実	事業者連絡会の支援および事業者連絡会との協働事業の評価	事業者連絡会の支援および事業者連絡会との協働事業の実施	事業者連絡会の支援および事業者連絡会との協働事業の評価
自主グループ支援の拡充	支援策の評価・改善策の検討	支援策の拡充	支援策の評価・改善策の検討
ボランティアグループ支援の拡充	支援策の評価・改善策の検討	支援策の拡充	支援策の評価・改善策の検討
ボランティアグループ支援の拡充	支援策の評価・改善策の検討	支援策の拡充	支援策の評価・改善策の検討
相談事業実施のための支援の拡充	支援策の評価・改善策の検討	支援策の拡充	支援策の評価・改善策の検討

平成24年度事業			事業費計 (千円)
事業名	担当課	予算(千円)	
せつつ高齢者がかがやきプラン策定事業	高齢介護課	402	2,024
介護給付適正化事業	高齢介護課	1,622	
地域介護予防活動支援事業	高齢介護課	350	619
認知症・介護支援事業	高齢介護課	269	

まちづくりの目標 4 暮らしにやさしく笑顔があふれるまち

政策 3 誰もが安心していきいきと暮らすことができるまちにします

施策 04 安心して介護を受けながら生活できるまちにします

担当部(統括部) 保健福祉部

【施策の展開の計画】

施策の展開(◎は重点的な取組み)			平成23年度	平成24年度
○介護予防の推進	既存の福祉サービスや「ふれあいサロン活動」、地域住民組織での自主活動などとの連携を進め、効果の高い介護予防や健康づくり施策を展開します。	計画	効果的な介護予防・健康づくり施策の研究	新たな介護予防・健康づくり施策の実施
			ふれあいリハサロンに理学・作業療法士や保健師等の専門職が参画し、効果的な実施方法を研究	ふれあいリハサロンに新たな方法を盛り込み、地域と相談して実施
		実績(成果)		
		次年度課題		
○介護保険サービスの確保と福祉サービスの利用促進	介護保険サービスの確保を図るとともに、介護保険サービスを補完する各種福祉サービスの利用を一層促進します。また、制度周知や相談支援体制の充実、事業者への助言指導の充実を図ります。	計画	高齢者ががやきプランの見直し	高齢者ががやきプランに基づく事業の実施
			各種福祉サービスの再構築の検討	移送サービスの福祉車両を1台増
			効果的な広報・相談体制の検討	広報・相談体制の拡充
			権限移譲に関する研究	権限移譲の検討・決定
実績(成果)				
次年度課題				
○高齢者の尊厳と自立支援	虐待防止のため、関係機関によるネットワークを強化するとともに、閉じこもりや孤立死防止のため、地域住民組織や地域住民と連携を図ります。また、成年後見制度などの普及啓発を図ります。	計画	地域ケア・高齢者虐待防止ネットワーク会議の開催	ネットワークの拡充
				あらゆる分野の虐待防止関係機関が参画する庁内ネットワークによる虐待防止の啓発及び対応の実施
				ケース会議への在宅高齢者虐待対応専門職チームの派遣
			成年後見制度の実施	成年後見制度の普及啓発活動の拡充
実績(成果)				
次年度課題				

摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと			平成23年度	平成24年度
介護相談員の派遣	ボランティアによる「介護相談員」を市内の全入所・通所施設に派遣して、利用者の疑問や不安の解消とサービスの質の向上を図ります。	計画	新規事業所への派遣開始、相談員の増員などの拡充	事業の拡充
		実績(成果)		
		次年度課題		
認知症サポーターの養成	認知症の人と家族を見守り・支援する、市民による「認知症サポーター」と、その講師役となる「認知症キャラバンメイト」の養成を行います。	計画	サポーター1,000人体制のための講座の実施、ボランティアの育成のための講座の実施	サポーター2,500人体制のための講座の実施、ボランティアグループの育成支援
		実績(成果)		
		次年度課題		

